

令和 8 年度龍郷町水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町はサトウキビを中心に、タンカン、パッションフルーツ等の果樹、カボチャ等の野菜、水稻の作付が行われており、地域の課題として、これまでの地域経済が大島紬等の伝統産業や公共事業により発展してきたこともあり農業資本の蓄積が乏しく、高齢化により農業従事者・農家戸数とも減少傾向にある。その他に奄美群島は台風常習地域であることから、自然災害の影響を受けやすい。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農家の高齢化により休耕田が増加していたが、高収益作物であるマコモの需要が高まり、マコモ生産組合の組織化による共同販売を目指し、省力化や収益向上等を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

マコモの需要が年々増加しているが、担い手不足により休耕田も存在しており、用排水路は主要道路にのみ整備されている状態である。当地域は奄美群島でも唯一の稲作地域であり、将来的に継続した水田の有効活用を行うため、担い手の確保や圃場管理を生産組合が主体となって行っていく必要がある。また、休耕田の所有者の意向を確認し、畑地化に向けた取組を推進する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要に応じた生産が出来るよう作付する。

(2) 非主食用米（加工用米）

平成 30 年～令和 3 年まで、集落営農組織と地元酒造会社の複数年契約による黒糖焼酎用の加工用米の生産を行っていたが、現在は一部酒造会社が独自に加工用米の生産に取り組んでいる。

(3) 高収益作物

水田の地域振興作物として、園芸作物のマコモを重点品目として支援する。特産品としての需要を拡大しつつあり、生産工場に向けた栽培歴の作成や産地形成に向けた環境整備調査を行っていく。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 地域農業再生協議会が存在しないため、会員名簿なし。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等	当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作
主食用米	1.84		2.02		2.32
備蓄米					
飼料用米					
米粉用米					
新市場開拓用米					
WCS用稲					
加工用米					
麦					
大豆					
飼料作物					
・子実用とうもろこし					
そば					
なたね					
地力増進作物					
高収益作物					
・野菜	2.8		2.92		5
・花き・花木					
・果樹					
・その他の高収益作物					
その他					
畑地化					

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	高収益作物（野菜：マコモ）	マコモ作付助成（基幹）	水田を有効活用し、マコモの栽培面積拡大を支援する。	（令和7年度） 2.80ha	（令和9年度） 5.50ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:鹿児島県

協議会名:龍郷町

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	マコモ作付助成(基幹)	1	12,000	高収益作物(野菜:マコモ)	作付面積に応じた支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。